

「ごみ減量・リサイクル」及び「家庭ごみ有料化制度」
に関する市民意識調査

報 告 書

平成 28 年 8 月

大 分 市

I. 調査の概要

1. 調査の目的

今年度に実施する「一般廃棄物処理基本計画」の改定のための基礎資料とするとともに「家庭ごみ有料化制度」の検証の参考材料とすることを目的とする。

2. 調査対象者

住民基本台帳から無作為抽出した大分市内在住の18歳以上の市民4,000人

3. 調査方法

郵送調査

4. 調査期間

平成28年7月20日（水）回収締切

5. 回収状況

発送数	4,000 件
回収数（有効回答）	1,778 件
回収率	44.5%

II. 集計方法

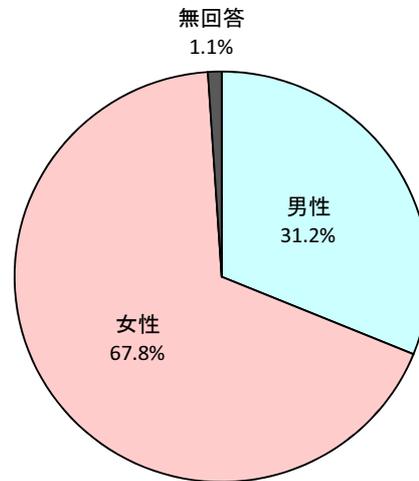
- ・ Nは質問に対する回答者数で、割合（%）を算出する際の基数となる。
- ・ 割合（%）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

Ⅲ. 調査結果

問 1	あなたの性別についてお答えください。
-----	--------------------

(N=1,778)

	回答数	割合
男性	554	31.2%
女性	1,205	67.8%
無回答	19	1.1%

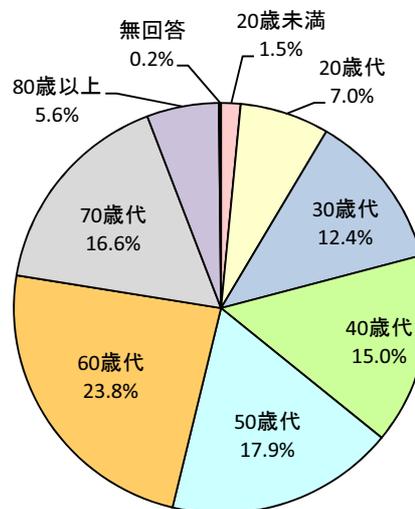


性別についてみると、男性が 31.2%、女性が 67.8%となっている。

問 2	あなたの年齢についてお答えください。
-----	--------------------

(N=1,778)

	回答数	割合
20歳未満	27	1.5%
20歳代	124	7.0%
30歳代	220	12.4%
40歳代	267	15.0%
50歳代	318	17.9%
60歳代	423	23.8%
70歳代	296	16.6%
80歳以上	100	5.6%
無回答	3	0.2%

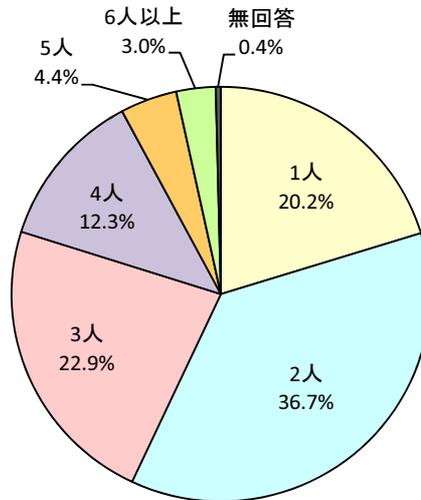


年齢についてみると、60歳代が 23.8%で最も高く、次いで順に 50歳代が 17.9%、70歳代が 16.6%、40歳代が 15.0%となっている。

問3 あなたと同居している方の人数(あなたを含めて)についてお答えください。

(N=1,778)

	回答数	割合
1人	360	20.2%
2人	653	36.7%
3人	407	22.9%
4人	219	12.3%
5人	78	4.4%
6人以上	54	3.0%
無回答	7	0.4%



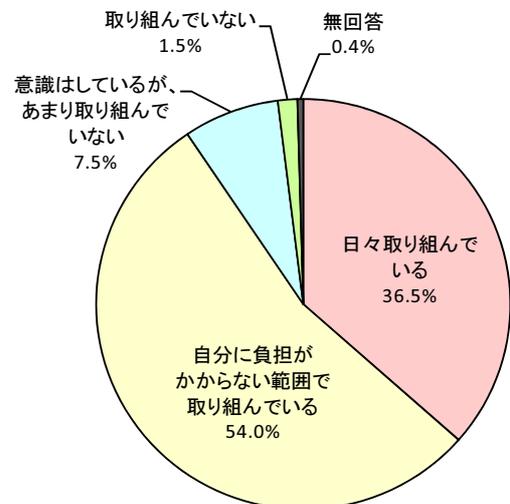
同居人数についてみると、「2人」が36.7%で最も高く、次いで順に「3人」が22.9%、「1人」が20.2%となっている。

問4 あなたは、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(○は1つ)

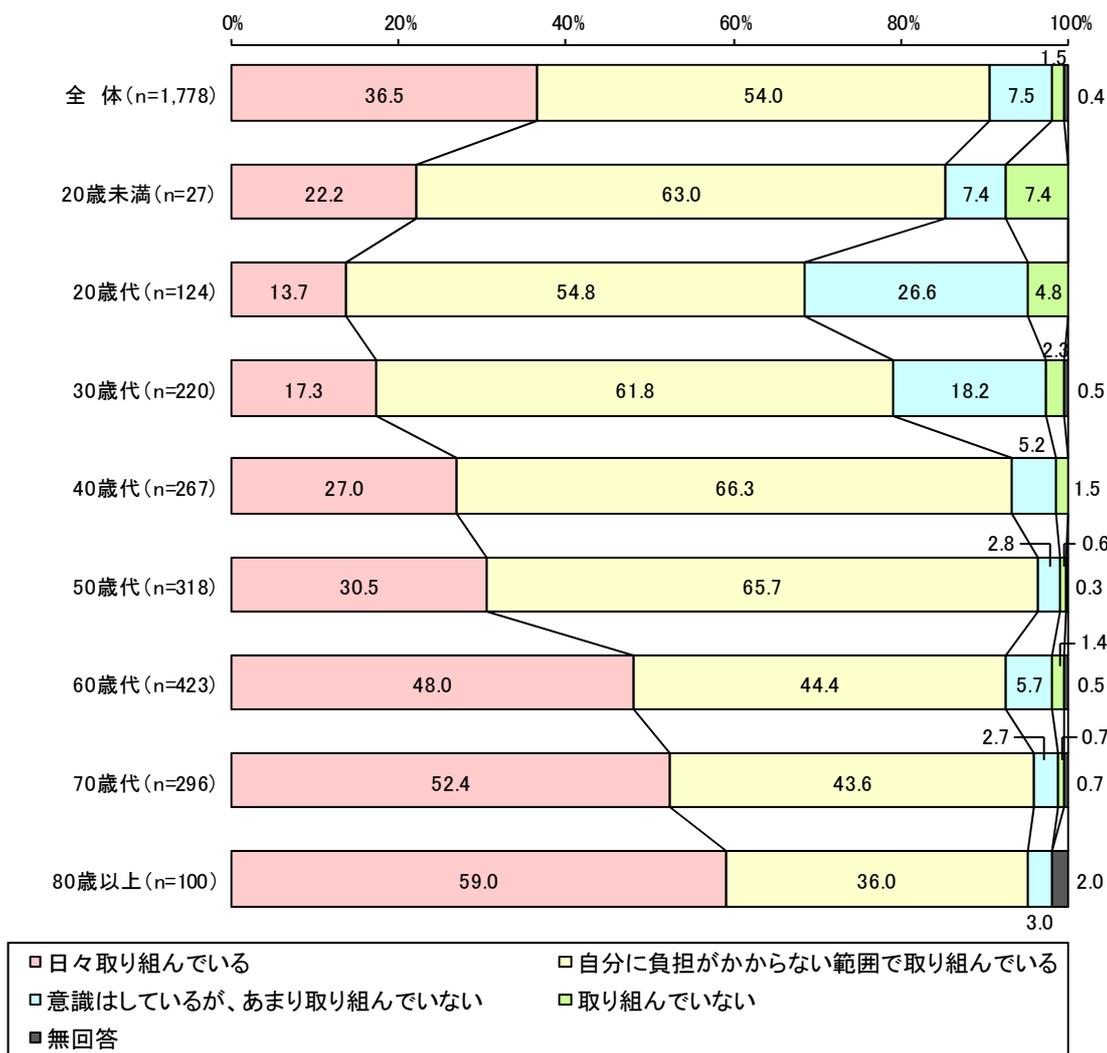
(N=1,778)

	回答数	割合
日々取り組んでいる	649	36.5%
自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる	961	54.0%
意識はしているが、あまり取り組んでいない	133	7.5%
取り組んでいない	27	1.5%
無回答	8	0.4%

ごみの減量やリサイクルに対する日頃の取り組みについてみると、「自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる」が54.0%と半数以上を占めて最も高く、次いで「日々取り組んでいる」が36.5%となっている。このことから、ほとんどの人が日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいると考えられる。



<年齢別>

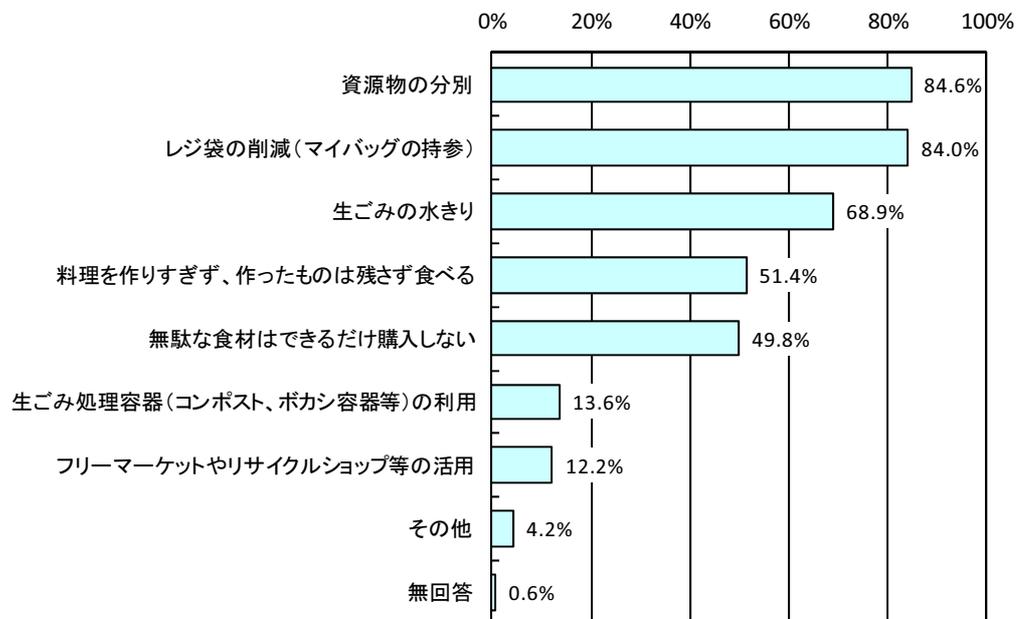


年齢別にみると、60歳代～80歳以上では「日々取り組んでいる」が最も高く、次いで「自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる」が高くなっている。その他の年齢では「自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる」が最も高くなっているが、20歳代・30歳代においては、次いで「意識はしているが、あまり取り組んでいない」が2割前後を占めて高くなっている。このことから、20歳代・30歳代の若年層を対象に、ごみ減量・リサイクル意識を高めるための啓発の方法を検討する必要があると考えられる。

問 5	問 4 で「日々取り組んでいる」または「自分に負担がかからない範囲で取り組んでいる」と答えた方にお聞きます。あなたが、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいることはどれですか。 (○はいくつでも)
-----	--

(N=1,610)

	回答数	割合
資源物の分別	1,362	84.6%
レジ袋の削減(マイバッグの持参)	1,353	84.0%
生ごみの水きり	1,109	68.9%
料理を作りすぎず、作ったものは残さず食べる	827	51.4%
無駄な食材はできるだけ購入しない	802	49.8%
生ごみ処理容器(コンポスト、ボカシ容器等)の利用	219	13.6%
フリーマーケットやリサイクルショップ等の活用	196	12.2%
その他	67	4.2%
無回答	9	0.6%



※「その他」の回答

デパート等で包装を断る
 地区の廃品回収に出す
 親戚の不要になった衣類の着回し
 野菜くず等天日干しして乾燥して出す
 物を大事に使い、すぐ買い換えたり捨てたりしない 等

ごみ減量・リサイクルに対する取り組みの内容についてみると、「資源物の分別」が 84.6%で最も高く、次いで順に「レジ袋の削減(マイバッグの持参)」が 84.0%、「生ごみの水きり」が 68.9%と高くなっている。また、「その他」の回答として「デパート等で包装を断る」や「地区の廃品回収に出す」等は、複数の同様の回答があった。

<年齢別>

※複数回答
(%)

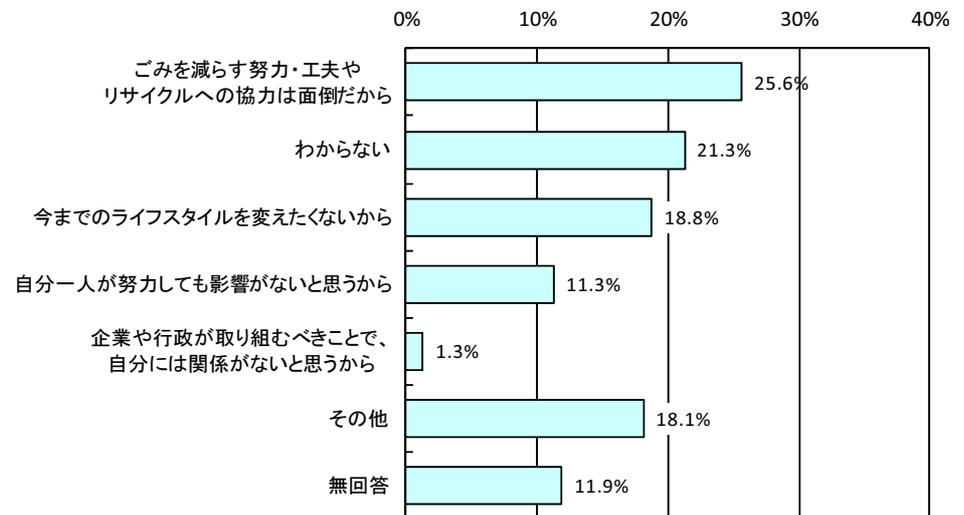
	サンプル数	資源物の分別	レジ袋の削減 (マイバッグの持参)	生ごみの水きり	料理を作りすぎず、 作ったものは残さず食べる	無駄な食材は できるだけ購入しない	生ごみ処理容器(コンポスト、 ポリ容器等)の利用	リサイクルマークシートや 等の活用	その他	無回答	
全体	1,610	84.6	84.0	68.9	51.4	49.8	13.6	12.2	4.2	0.6	
年齢別	20歳未満	23	69.6	60.9	21.7	39.1	30.4	4.3	8.7	—	—
	20歳代	85	83.5	81.2	38.8	48.2	44.7	5.9	15.3	2.4	—
	30歳代	174	85.1	82.8	59.2	55.7	49.4	6.3	22.4	4.0	—
	40歳代	249	82.3	83.1	62.2	51.8	47.8	7.6	18.1	4.0	—
	50歳代	306	89.2	85.9	71.6	51.6	47.1	8.5	14.4	3.6	0.3
	60歳代	391	88.2	89.3	78.0	53.2	52.7	19.7	7.7	4.3	0.5
	70歳代	284	84.2	83.8	76.8	47.5	52.1	20.4	7.0	5.3	0.7
	80歳以上	95	66.3	71.6	71.6	51.6	54.7	23.2	3.2	4.2	4.2

年齢別にみると、80歳以上では「レジ袋の削減(マイバッグの持参)」と「生ごみの水きり」が71.6%の同率で最も高くなっている。40歳代と60歳代では「レジ袋の削減(マイバッグの持参)」が最も高く、その他の年齢においては「資源物の分別」が最も高くなっている。また80歳以上に加え、50歳代～70歳代でも「生ごみの水きり」が7割以上を占めている。生ごみの水切りなど、生ごみ減量に向けた取り組みは年齢が若くなるにつれ低くなっており、若年層を対象としたごみ減量・リサイクルへの取組事例等の周知・啓発を検討する必要があると考えられる。

問 6	問 4 で「意識はしているが、あまり取り組んでいない」または「取り組んでいない」と答えた方にお聞きします。あなたが、ごみ減量・リサイクルについて取り組んでいないと答えた理由はどれですか。(〇はいくつでも)
-----	--

(N=160)

	回答数	割合
ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから	41	25.6%
わからない	34	21.3%
今までのライフスタイルを変えたくないから	30	18.8%
自分一人が努力しても影響がないと思うから	18	11.3%
企業や行政が取り組むべきことで、自分には関係がないと思うから	2	1.3%
その他	29	18.1%
無回答	19	11.9%



※「その他」の回答

家族がやっている
 何をしてもよいかわからない
 仕事に追われて洗浄等丁寧にできない
 時々分別がわからなくなり、雑にしてしまうことがある 等

ごみ減量・リサイクルに取り組んでいない理由についてみると、「ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから」が25.6%で最も高く、次いで「わからない」が21.3%、「今までのライフスタイルを変えたくないから」が18.8%となっている。また、「その他」の回答として、「家族がやっている」や「何をしてもよいかわからない」等は複数の同様の回答があった。

このことから、循環型社会の実現のため、一人ひとりがごみ減量・リサイクルに取り組むことを、継続して市民に説明していく必要があると考えられる。

<年齢別>

※複数回答
(%)

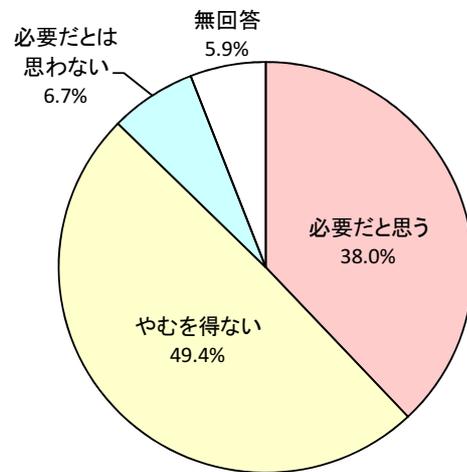
		サンプル数	面倒だから リサイクルへの 協力は	わからない	今までのライフスタイルを 変えたくないから	自分一人が努力しても 影響がないと思うから	自分一人は関係がないと思うから 取り組むべきことで、 企業や行政が	その他	無回答
全 体		160	25.6	21.3	18.8	11.3	1.3	18.1	11.9
年 齢 別	20歳未満	4	25.0	—	—	—	—	50.0	25.0
	20歳代	39	25.6	20.5	25.6	17.9	2.6	12.8	5.1
	30歳代	45	26.7	24.4	22.2	4.4	—	17.8	13.3
	40歳代	18	38.9	16.7	16.7	16.7	—	11.1	16.7
	50歳代	11	27.3	9.1	27.3	27.3	—	27.3	—
	60歳代	30	23.3	20.0	13.3	6.7	—	23.3	13.3
	70歳代	10	10.0	30.0	—	—	10.0	20.0	30.0
	80歳以上	3	—	66.7	—	33.3	—	—	—

年齢別にみると、20歳代～60歳代では「ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから」が最も高くなっている。(20歳代では「ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから」と「今までのライフスタイルを変えたくないから」が同率。50歳代では「ごみを減らす努力・工夫やリサイクルへの協力は面倒だから」と「今までのライフスタイルを変えたくないから」と「自分一人が努力しても影響がないと思うから」が同率。) また、50歳代においては「自分一人が努力しても影響がないと思うから」が27.3%となっており、比較的高い割合を占めていることから、年代別に対応していく必要があると考えられる。

問 7	<p>家庭ごみ有料化制度は、ごみ処理に係る費用負担の公平性を確保することと、家庭ごみの減量・リサイクルの推進を目的として実施しましたが、この制度の必要性についてどう思いますか。 (○は1つ)</p>
-----	---

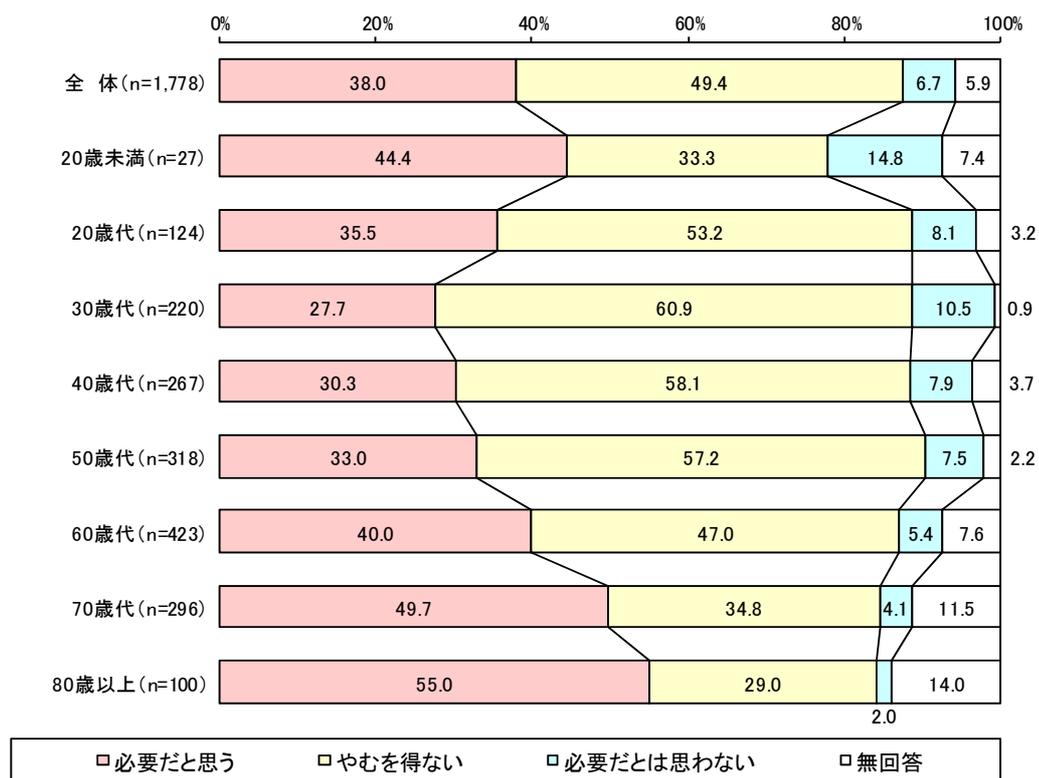
(N=1,778)

	回答数	割合
必要だと思う	675	38.0%
やむを得ない	878	49.4%
必要だとは思わない	120	6.7%
無回答	105	5.9%



家庭ごみ有料化制度の必要性についてみると、「必要だと思う」が38.0%、「やむを得ない」が49.4%、「必要だとは思わない」が6.7%となっている。

<年齢別>



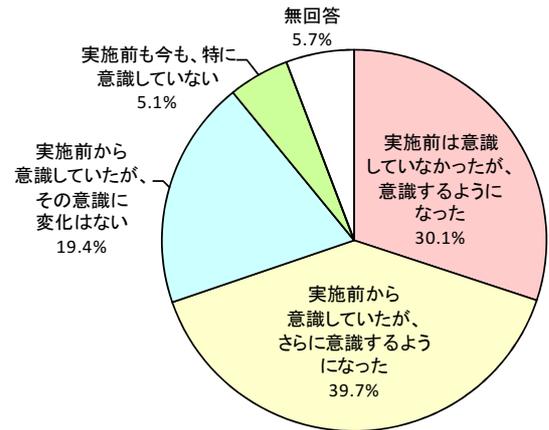
年齢別にみると、20歳未満・70歳代・80歳以上では「必要だと思う」が最も高く、80歳以上においては半数を超えている。その他の年齢では「やむを得ない」が最も高く、30歳代においては6割以上を占めている。なお、20歳未満と30歳代では「必要だとは思わない」が1割以上と比較的高くなっている。

問 8	あなたは、家庭ごみ有料化の実施により、ごみ減量やリサイクルについて意識の変化がありましたか。(○は1つ)
-----	--

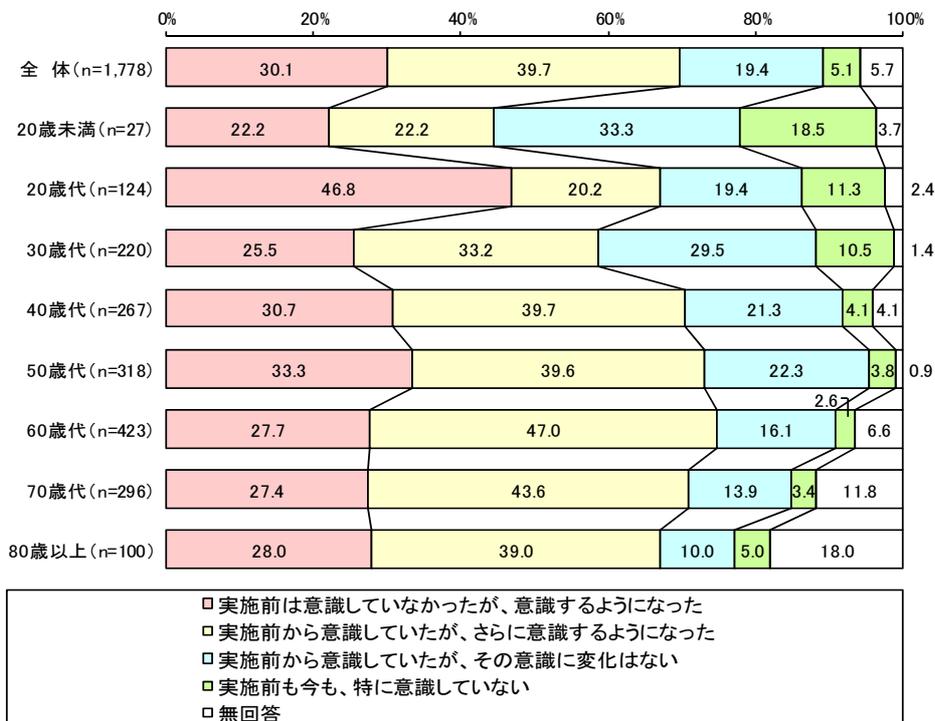
(N=1,778)

	回答数	割合
実施前は意識していなかったが、意識するようになった	535	30.1%
実施前から意識していたが、さらに意識するようになった	705	39.7%
実施前から意識していたが、その意識に変化はない	345	19.4%
実施前も今も、特に意識していない	91	5.1%
無回答	102	5.7%

家庭ごみ有料化に伴うごみ減量やリサイクルへの意識の変化についてみると、「実施前から意識していたが、さらに意識するようになった」が39.7%で最も高く、次いで「実施前は意識していなかったが、意識するようになった」が30.1%「実施前から意識していたが、その意識に変化はない」が19.4%となっており、約7割の人が家庭ごみ有料化の実施によりごみ減量・リサイクルについて意識するようになっている。



<年齢別>



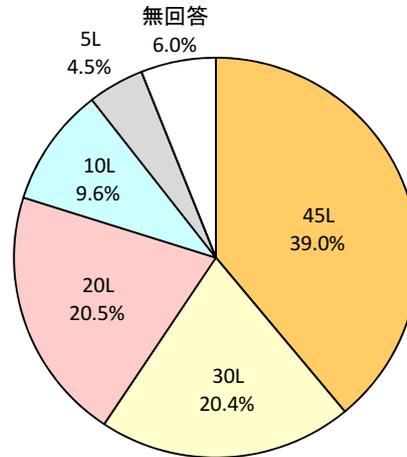
年齢別にみると、20歳未満は「実施前から意識していたが、その意識に変化はない」、20歳代は「実施前は意識していなかったが、意識するようになった」が最も高く、その他の年齢においては、「実施前から意識していたが、さらに意識するようになった」が最も高くなっている。

問 9	家庭ごみ有料化の実施直後と現在で、あなたが「燃やせるごみ」に使用している袋の大きさをお答えください。
-----	--

1. 家庭ごみ有料化を実施したはじめの頃に、主に使用していた指定ごみ袋の大きさ(○は1つ)

(N=1,778)

	回答数	割合
45L	693	39.0%
30L	362	20.4%
20L	365	20.5%
10L	171	9.6%
5L	80	4.5%
無回答	107	6.0%

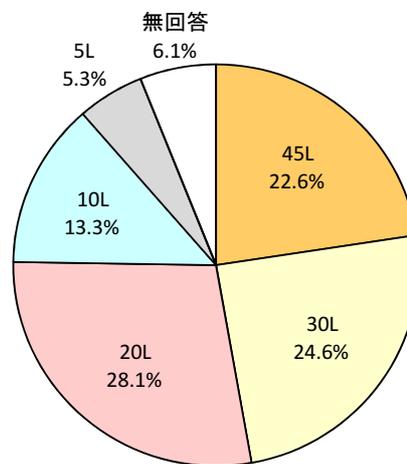


家庭ごみ有料化を実施したはじめの頃に、主に使用していた指定ごみ袋の大きさについてみると、「45L」が39.0%で最も高く、次いで「20L」が20.5%、「30L」が20.4%となっている。なお、「10L」と「5L」は1割未満となっている。

2. 現在、主に使用している指定ごみ袋の大きさ(○は1つ)

(N=1,778)

	回答数	割合
45L	402	22.6%
30L	437	24.6%
20L	499	28.1%
10L	237	13.3%
5L	95	5.3%
無回答	108	6.1%

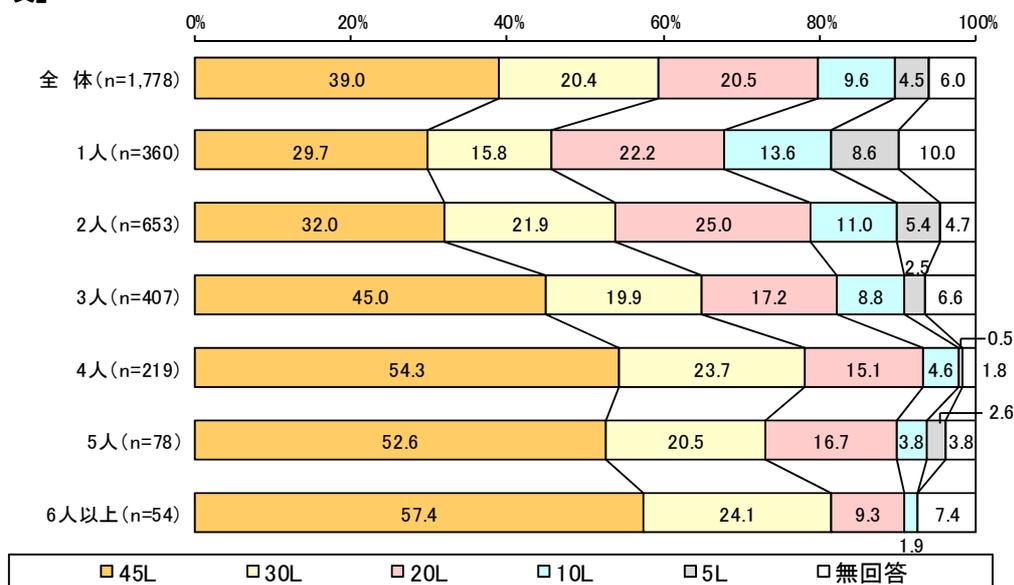


現在、主に使用している指定ごみ袋の大きさについてみると、「20L」が28.1%で最も高く、次いで「30L」が24.6%、「45L」が22.6%となっている。なお、「10L」は13.3%で1割以上、「5L」は1割未満となっており、全体的に小さいサイズに移行している。

このことから、指定ごみ袋を導入したことにより、「少しでもごみを減らそう」という意識が働いたのではないかと考えられる。

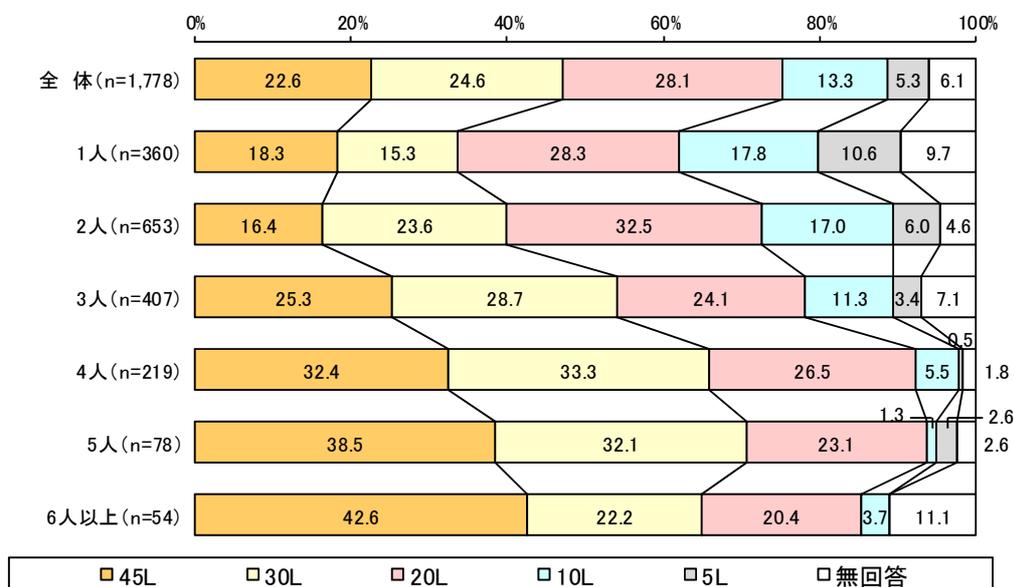
<同居人数別>

【実施したはじめの頃】



家庭ごみ有料化の実施直後に主に使用していた指定ごみ袋の大きさについて、同居人数別にみると、全ての同居人数において「45L」が最も高く、4人以上では半数を超えている。また、2人以下では「20L」が2割以上で比較的高くなっている。

【現在】



現在、主に使用している指定ごみ袋の大きさについて、同居人数別にみると、2人以下においては「20L」が最も高く、次いで1人では「45L」、2人では「30L」が高くなっている。3~4人では「30L」が最も高く、次いで「45L」が高くなっている。5人以上においては「45L」が最も高く、次いで「30L」が高くなっている。

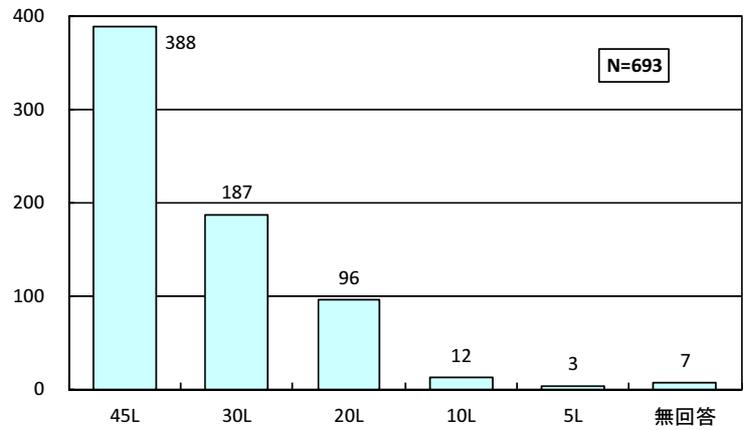
<使用サイズの推移>

※実施直後の使用サイズ別にみた現在の使用サイズ

【実施したはじめての頃45L】

(N=693)

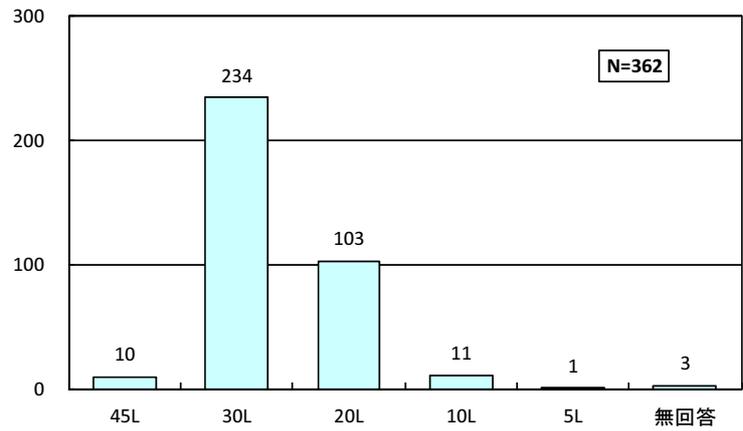
	回答数	割合
45L	388	56.0%
30L	187	27.0%
20L	96	13.9%
10L	12	1.7%
5L	3	0.4%
無回答	7	1.0%



【実施したはじめての頃30L】

(N=362)

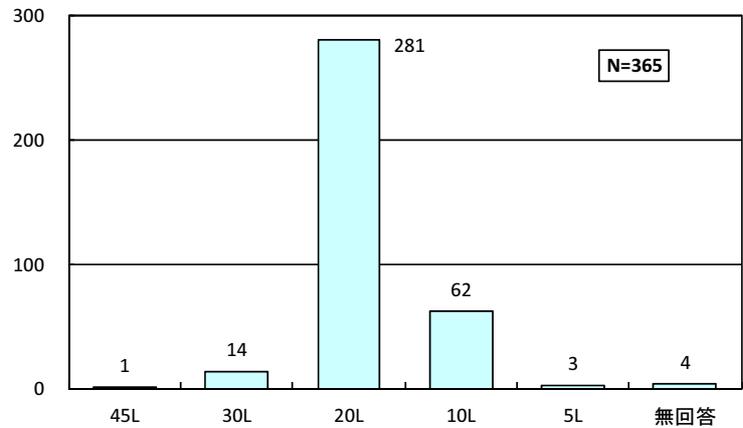
	回答数	割合
45L	10	2.8%
30L	234	64.6%
20L	103	28.5%
10L	11	3.0%
5L	1	0.3%
無回答	3	0.8%



【実施したはじめての頃20L】

(N=365)

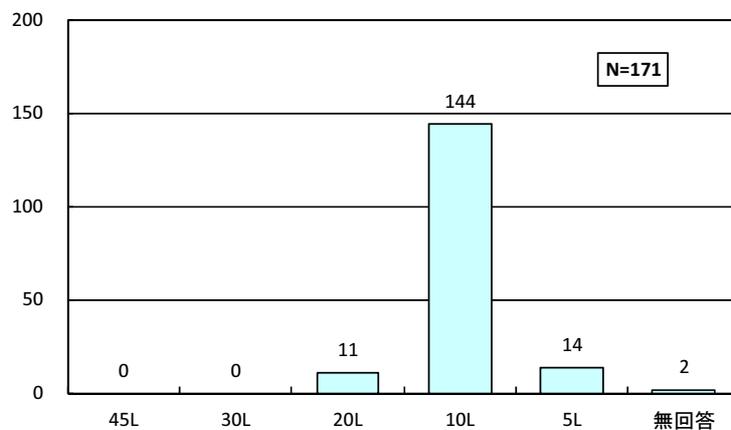
	回答数	割合
45L	1	0.3%
30L	14	3.8%
20L	281	77.0%
10L	62	17.0%
5L	3	0.8%
無回答	4	1.1%



【実施したはじめての頃10L】

(N=171)

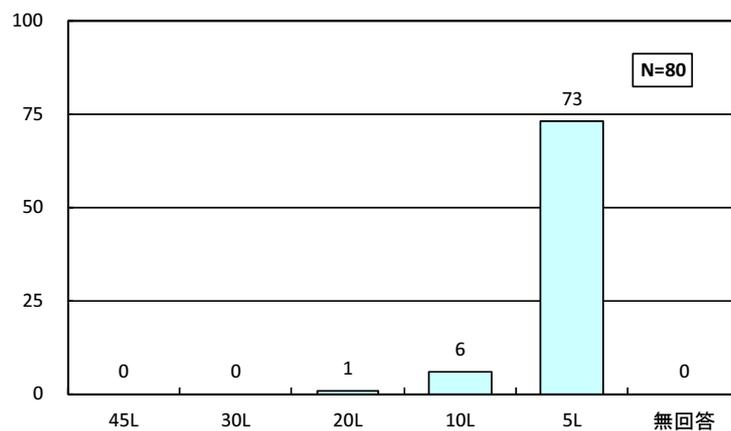
	回答数	割合
45L	0	0.0%
30L	0	0.0%
20L	11	6.4%
10L	144	84.2%
5L	14	8.2%
無回答	2	1.2%



【実施したはじめての頃5L】

(N=80)

	回答数	割合
45L	0	0.0%
30L	0	0.0%
20L	1	1.3%
10L	6	7.5%
5L	73	91.3%
無回答	0	0.0%



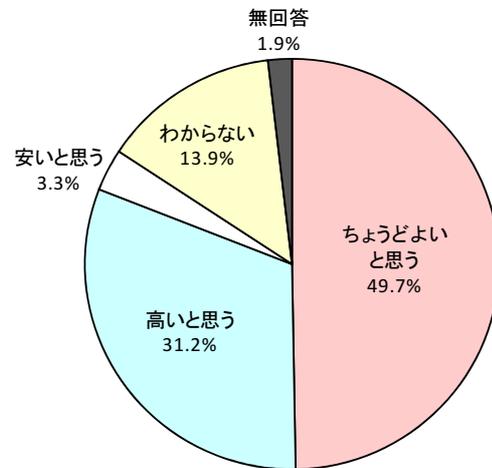
使用サイズ別に使用サイズの推移をみると、実施したはじめての頃の使用サイズが「45L」では 43%、「30L」では 31.8%、「20L」では 17.8%、「10L」では 8.2%が小さい袋に移行している。実施したはじめての頃の使用サイズが大きいほど小さいサイズに移行した割合が高く、反対に大きいサイズに移行したのは、「30L」が 2.8%、「20L」が 4.1%、「10L」が 6.4%、「5L」が 8.8%となっている。

問 10 指定ごみ袋に関することについてお答えください。

1. あなたは指定ごみ袋の値段についてどう思いますか。(○は1つ)

(N=1,778)

	回答数	割合
ちょうどよいと思う	884	49.7%
高いと思う	555	31.2%
安いと思う	59	3.3%
わからない	247	13.9%
無回答	33	1.9%

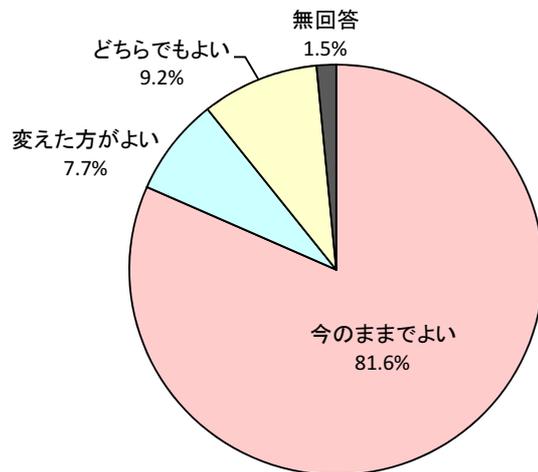


指定ごみ袋の値段についてみると、「ちょうどよいと思う」が49.7%で最も高く、次いで「高いと思う」が31.2%となっている。なお、「安いと思う」は3.3%となっている。

2. 指定ごみ袋の種類(大きさ)についてどう思いますか。(○は1つ)

(N=1,778)

	回答数	割合
今のままでよい	1,451	81.6%
変えた方がよい	137	7.7%
どちらでもよい	163	9.2%
無回答	27	1.5%



※「変えた方がよい」主な意見

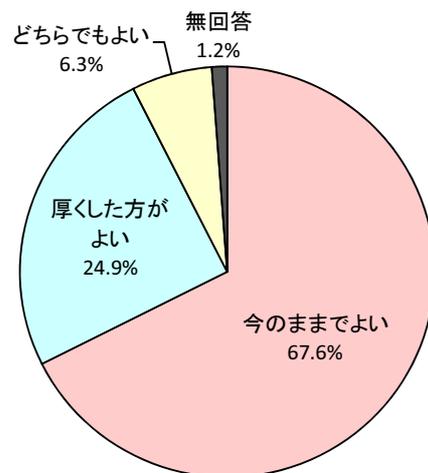
- 45L以上の袋がほしい(60L,70L,90L)
- 15Lの袋がほしい
- 5Lの袋は不要
- 袋の種類が多すぎる
- 5L以下の袋がほしい
- 25Lの袋がほしい
- 10Lの袋は不要

指定ごみ袋の種類(大きさ)についてみると、「今のままでよい」が81.6%で最も高く、次いで「どちらでもよい」が9.2%、「変えた方がよい」が7.7%となっている。「変えた方がよい」主な意見としては、45L以上(60L、70L、90L)・25L・15L・5L以下の袋がほしいという意見がある一方、5L・10Lは不要という意見や、種類が多すぎるという意見もみられる。

3. 指定ごみ袋の厚さについてどう思いますか。(○は1つ)

(N=1,778)

	回答数	割合
今のままでよい	1,202	67.6%
厚くした方がよい	443	24.9%
どちらでもよい	112	6.3%
無回答	21	1.2%

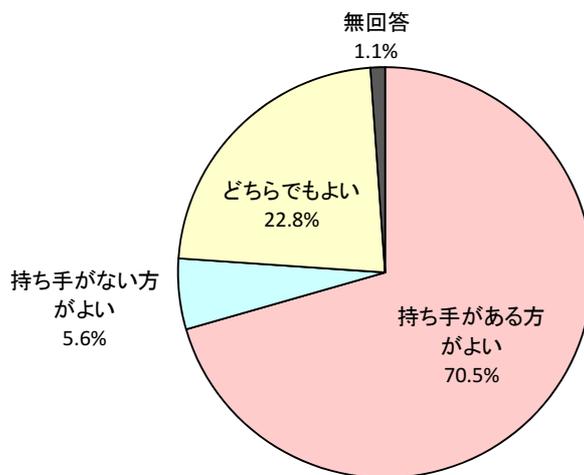


指定ごみ袋の厚さについてみると、「今のままでよい」が 67.6%で最も高く、次いで「厚くした方がよい」が 24.9%、「どちらでもよい」が 6.3%となっている。

4. 指定ごみ袋の形についてどう思いますか。(○は1つ)

(N=1,778)

	回答数	割合
持ち手がある方がよい	1,254	70.5%
持ち手がない方がよい	99	5.6%
どちらでもよい	405	22.8%
無回答	20	1.1%



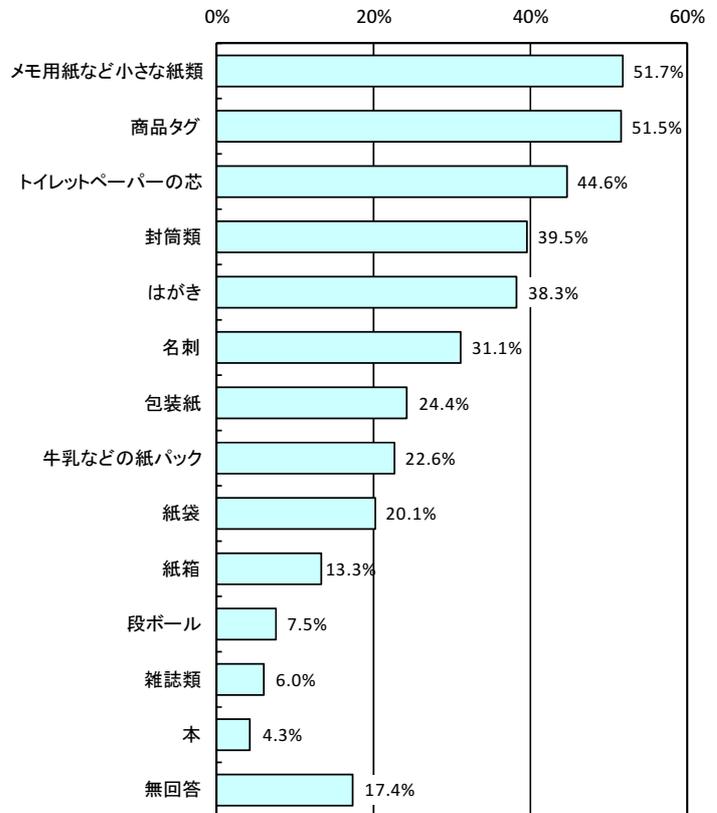
指定ごみ袋の形についてみると、「持ち手がある方がよい」が 70.5%で最も高く、次いで「どちらでもよい」が 22.8%で高く、「持ち手がない方がよい」は 5.6%となっている。

問 11	次のものは「古紙・布類」の日に出すようになっていますが、あなたが「燃やせるごみ」として出しているものがあれば○印をつけて、その主な理由にも○印をつけてください。
------	--

【種類】(○はいくつでも)

(N=1,778)

	回答数	割合
メモ用紙など小さな紙類	920	51.7%
商品タグ	916	51.5%
トイレトペーパーの芯	793	44.6%
封筒類	703	39.5%
はがき	681	38.3%
名刺	553	31.1%
包装紙	433	24.4%
牛乳などの紙パック	402	22.6%
紙袋	358	20.1%
紙箱	237	13.3%
段ボール	133	7.5%
雑誌類	107	6.0%
本	77	4.3%
無回答	310	17.4%

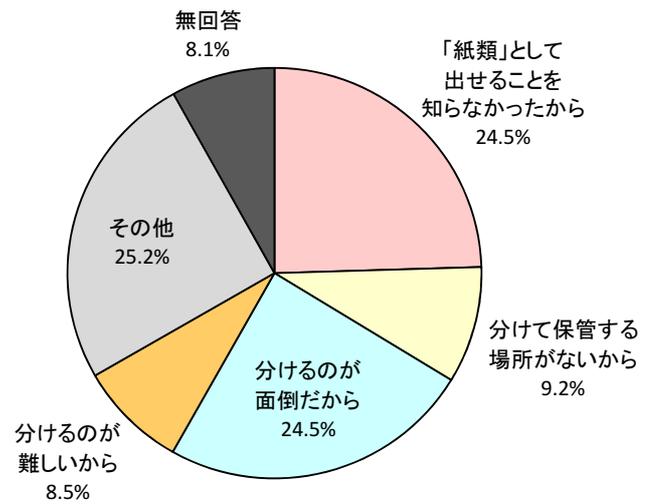


「燃やせるごみ」として出しているものについてみると、「メモ用紙など小さな紙類」、「商品タグ」、「トイレトペーパーの芯」、「封筒類」、「はがき」が順に上位を占めて高くなっている。また、「包装紙」や「紙袋」といった梱包資材や、「牛乳などの紙パック」も2割以上となっている。このことから、紙類として出せるものについて、市民に分かりやすく説明し、周知に努める必要があると考えられる。

【主な理由】(〇は1つ)

(N=1,468)

	回答数	割合
「紙類」として出せることを知らなかったから	360	24.5%
分けて保管する場所がないから	135	9.2%
分けるのが面倒だから	359	24.5%
分けるのが難しいから	125	8.5%
その他	370	25.2%
無回答	119	8.1%



※「その他」の回答

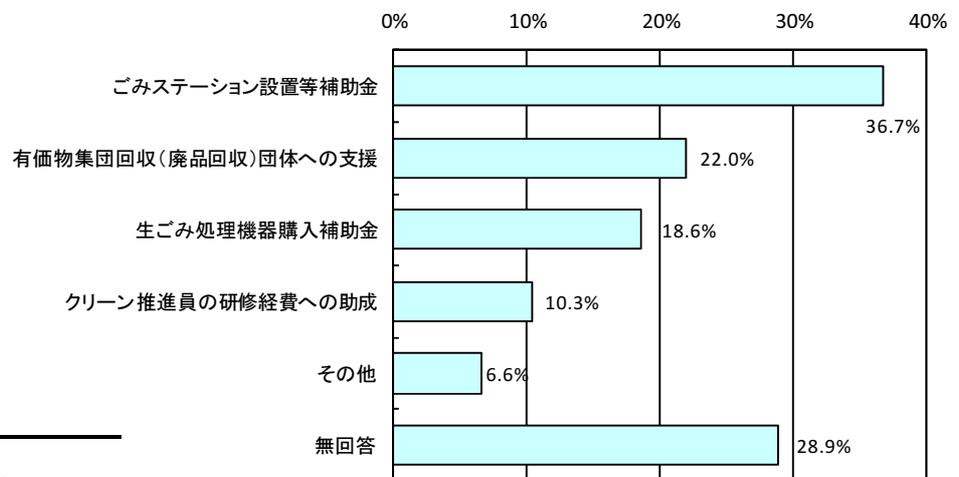
- 個人情報があるから
- 小さいから
- 量が少ないから
- シュレッターにかけているから
- すぐに捨てたいから 等

「燃やせるごみ」として出している理由についてみると、「紙類として出せることを知らなかったから」と「分けるのが面倒だから」が 24.5%で高くなっている。また、「その他」の回答としては、「個人情報があるから」という回答が大多数を占めていた。

問 12	家庭ごみ有料化の実施に伴い、下記の事業を拡充しましたが、あなたがさらに充実してほしいと思うものを選んでください。(〇はいくつでも)
------	---

(N=1,778)

	回答数	割合
ごみステーション設置等補助金	652	36.7%
有価物集団回収(廃品回収)団体への支援	391	22.0%
生ごみ処理機器購入補助金	330	18.6%
クリーン推進員の研修経費への助成	184	10.3%
その他	118	6.6%
無回答	513	28.9%



※「その他」の回答

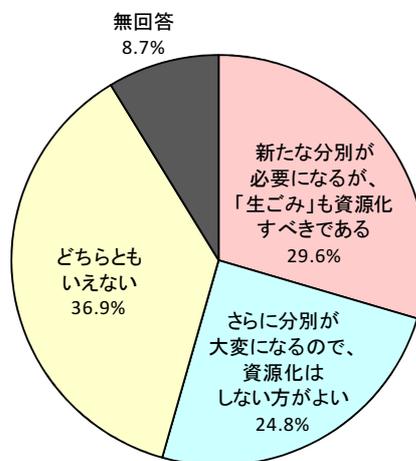
カラス対策
フリーマーケット実施の増
粗大ごみ回収の利便性向上
分別の徹底 等

充実してほしい事業についてみると、「ごみステーション設置等補助金」が 36.7%で最も高くなっており、ごみステーションへの関心が高いことが伺える。また、「有価物集団回収(廃品回収)団体への支援」や「生ごみ処理機器購入補助金」も 2 割前後を占めている。また、「その他」の回答として「カラス対策」や「フリーマーケット実施の増」等は、複数の同様の回答があった。

問 13	有料化実施後においても依然として「燃やせるごみ」の約 5 割を「生ごみ」が占めており、「生ごみ」の減量化がごみ減量に向けた大きな課題となっていますが、一方で「生ごみ」をエネルギー資源として利活用する動きも全国的に広まっています。あなたは「生ごみ」の資源化についてどう思いますか。(〇は 1 つ)
------	---

(N=1,778)

	回答数	割合
新たな分別が必要になるが、「生ごみ」も資源化すべきである	526	29.6%
さらに分別が大変になるので、資源化はしない方がよい	441	24.8%
どちらともいえない	656	36.9%
無回答	155	8.7%



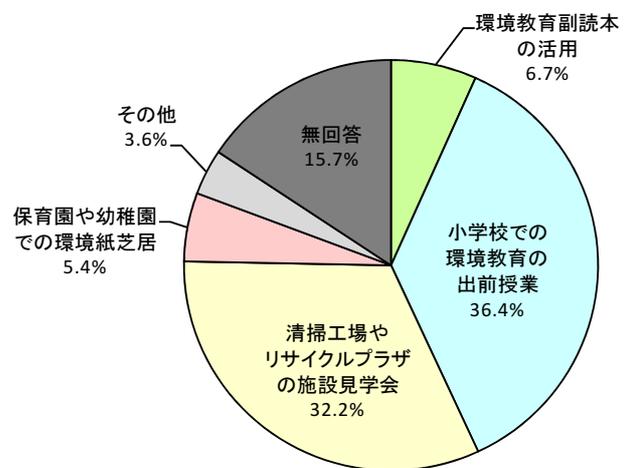
「生ごみ」の資源化についてみると、「どちらともいえない」が 36.9%で最も高く、次いで「新たな分別が必要になるが、「生ごみ」も資源化すべきである」が 29.6%、「さらに分別が大変になるので、資源化はしない方がよい」が 24.8%となっている。

「生ごみ」の資源化については意見が分かれており、分別を伴わない資源化の手法についても調査・研究していく必要があると考えられる。

問 14	環境問題は、子供のころからの教育が重要と考えますが、環境教育の取り組みとしてあなたが充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)
------	---

(N=1,778)

	回答数	割合
環境教育副読本の活用	119	6.7%
小学校での環境教育の出前授業	647	36.4%
清掃工場やリサイクルプラザの施設見学会	573	32.2%
保育園や幼稚園での環境紙芝居	96	5.4%
その他	64	3.6%
無回答	279	15.7%



※「その他」の回答

家庭で教育することが大切である
 子どもより親の教育が必要
 親と子が一緒に参加して環境教育を受ける場
 小・中学校、高校での環境教育
 テレビの活用 等

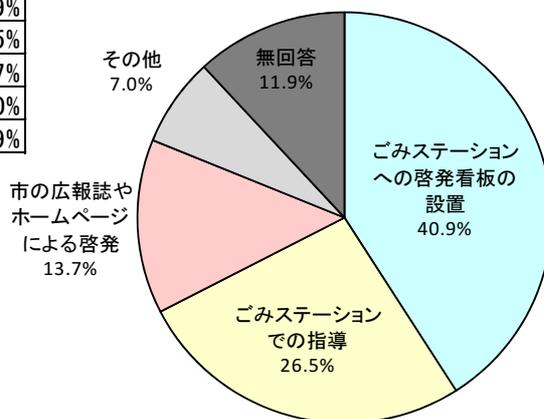
充実してほしい環境教育の取り組みについてみると、「小学校での環境教育の出前授業」が36.4%で最も高く、次いで「清掃工場やリサイクルプラザの施設見学会」が32.2%で高くなっている。また、「その他」の回答として「家庭で教育することが大切」や「子どもより親の教育が必要」等は複数の同様の回答があった。

「体験型」のプログラムを求める意見が多いことから、引き続き本市の行っている環境教育をより一層充実させていく必要があると考えられる。

問 15	依然として、ごみステーションにルール違反ごみが持ち込まれている状況が見受けられますが、排出マナーの向上に向けての取り組みとしてあなたが充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)
------	--

(N=1,778)

	回答数	割合
ごみステーションへの啓発看板の設置	728	40.9%
ごみステーションでの指導	471	26.5%
市の広報誌やホームページによる啓発	244	13.7%
その他	124	7.0%
無回答	211	11.9%



※「その他」の回答

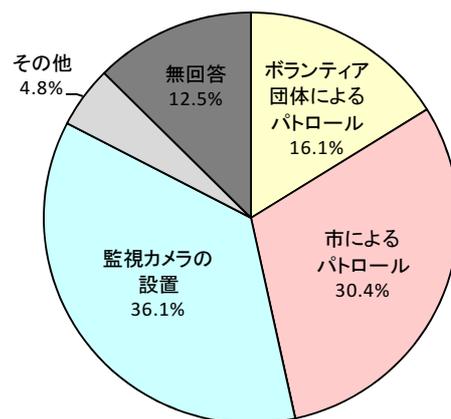
- 罰金等の導入
- 監視カメラの設置
- 指定ごみ袋に名前や番地を記入
- テレビでの広報
- 本人の意識の問題である 等

充実してほしい排出マナー向上への取り組みについてみると、「ごみステーションへの啓発看板の設置」が40.9%で最も高く、次いで「ごみステーションでの指導」が26.5%、「市の広報誌やホームページによる啓発」が13.7%となっている。また、「その他」の回答として「罰金等の導入」や「監視カメラの設置」等は、複数の同様の回答があった。ステーションでの対応が多く求められており、排出現場での指導・啓発の充実が必要であると考えられる。

問 16	不法投棄に対する取り組みとしてあなたが充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)
------	--

(N=1,778)

	回答数	割合
ボランティア団体によるパトロール	287	16.1%
市によるパトロール	541	30.4%
監視カメラの設置	641	36.1%
その他	86	4.8%
無回答	223	12.5%



※「その他」の回答

- 罰則の強化
- モラルの問題
- 回収できないものがないようになれば良い
- 立て看板の設置 等

充実してほしい不法投棄に対する取り組みについてみると、「監視カメラの設置」が36.1%で最も高く、次いで「市によるパトロール」が30.4%、「ボランティア団体によるパトロール」が16.1%となっていることから、不法投棄については、未然防止に向けた行政の積極的な取り組みが求められていると考えられる。また、「その他」の回答として「罰則の強化」や「モラルの問題」等の回答は複数あった。

問 17

ごみ減量・リサイクルや家庭ごみ有料化制度についてのご意見・ご要望

1. 家庭ごみ有料化制度について 100 件

有料化して良かった
有料化は反対・不要
ごみ減量の成果が出ていない・分からない
手数料が高い・家計への負担が大きい
ごみが減った
やむを得ない
有料化は当然
ある程度必要・必要
現状のままで良い
手数料が安い・高くすべき
ポイ捨て・不法投棄が増えた
分別するようになった
有料化制度の導入が遅い
全て有料の袋で出すようにした方が良い
有料化したお金は何に使われているのか？
有料化する前に市の財政削減を考えるべき 等

2. 指定ごみ袋について 130 件

よく裂ける・破れる(特に20L)・丈夫にしてほしい
ごみ袋の値段を安くしてほしい・同じ価格で入枚数を増やしてほしい・高い
入枚数の多いものがほしい(20枚入り、30枚入り、50枚入り等)
紙オムツを使う家庭に無料配布されるごみ袋が足りない・3歳頃まで無料配布を希望
所得によりごみ袋代金を変えてほしい・無料配布してほしい
45Lより大きい袋がほしい
ロール状のごみ袋がほしい
ごみ袋が5種類あるのは良い・種類が豊富で良い
15Lがほしい
5Lより小さい袋がほしい
他の種類のごみも色違いの専用の袋を作ってほしい・有料化してほしい
ごみ袋に容量を大きく印字してほしい(広げなくても分かる様に)
使いやすい 等

3. ごみステーションについて 52件

カラスの対策をしてほしい
ごみステーションを設置、増設してほしい
分別の看板を設置してほしい
ごみネットのおかげでカラスにつつかれなくなった
屋根がほしい・小屋タイプにしてほしい
家の前がごみステーションになっているので片付けが大変(臭いや汚れ等)
ごみステーションの場所が良くない・危ない
全てのごみステーションにネット等をつけてほしい
使用していないときのごみネットをきれいに置きたい
ごみネットの網目が大きすぎる・重みがない
ごみステーションがいつもきれい
カギをつけてほしい
監視カメラをつけてほしい 等

4. マナーについて 88件

地区以外の方が通りがかりにごみを置いて行く
分別に対する意識が低い人、分別していない人が多い
マンション(アパート)の人のごみ出しマナーが悪い・特に若者
ポイ捨てが目立つ
ごみ出しマナーが悪い人に誰も注意する人がいない・声をかけにくい
落葉やごみを家で燃やしている人がいる
袋に名前を書かせる・特定できるようにする
ポイ捨て防止のための監視カメラをつけてほしい
公共のごみ箱に家庭ごみを持ち込む人がいる
ごみ袋の中を新聞で目隠しするのはやめてほしい
収集日以外にごみを出す人がいる
犬の糞やおしっこ処理をしていない人が多い
ごみ袋を開けて、詰め替えて袋を持って行ったり、一緒に入れたりする人がいる
マナーを守る人と守らない人の対策を考えてほしい
違うごみ袋に入れて捨てている人がいる 等

5. 分別について 109件

分別を分かりやすくしてほしい・細かすぎる・大変
分別したごみは本当に分かれて処理されているのか、リサイクルできているのか？
「家庭ごみ分別事典」・「その他紙類について知ろう」が便利・再度配布してほしい

もっと細かく分別した方が良い
洗う必要があるものは、水道代も考える
分別の詳細が載っている冊子やパンフレットがほしい・情報提供してほしい
置く場所がないので分別が面倒
木、枝、葉、プラスチックが指定ごみ袋でないのも助かる
分別が分からない
ペットボトルのラベルもはがして出すようにしたほうが良い
分別方法を写真でOK例NG例が見られると良い
落葉ごみ等は有料袋にすべき
分別方法を変えないでほしい
公共のごみ箱では分別していない人が多い・ごみ箱自体が分別されていない
スプレー缶に穴をあけるのが怖い・そのまま出したい
プラスチックにシールが付いていたり、ビンにプラスチックが付いていて困る
45Lの袋に入らない大きな不燃物はどうすれば良いか分からない 等

6. 生ごみ処理容器について 23 件

コンポストは虫や臭いの問題が大変
できた堆肥の回収をしてほしい
生ごみ処理容器の利用方法が分からない・手軽に利用したい
コンポストは助かる
生ごみ処理容器を団地やアパートで共同で使えるようにしてほしい
もっとコンポストを利用すべき
コンポストを利用したいが置く場所がない 等

7. ごみ収集について 59 件

ごみ収集日を増やしてほしい
分別が間違っているごみを持って行かないのは衛生的に良くない・対策をとってほしい
ごみ収集を夜間にしてほしい
燃やせるごみの回収時間が遅い・早くしてほしい
ごみ収集は全て民間に委託した方が良い
乾電池や使い捨てライターはコンビニなどに回収ボックスを設置してほしい
ごみ収集車が後ろを開けたまま走っている・ごみを落としている
ごみ収集車を交差点付近に停めないでほしい・安全に収集してほしい
「収集できません」ラベルには、収集できない理由を具体的に表記してほしい
午前9時以降から回収してほしい・回収時間が早すぎる時がある 等

8. 粗大ごみについて 16件

収集料金が高すぎる・無料にしてほしい
ごみステーションに粗大ごみを出せる日を作ってほしい
家の中から収集車に積み込み可能な場所まで搬出できない 等

9. 過剰包装について 18件

販売段階での減量にもっと取り組んでほしい
買い物の際に過剰包装を断っている 等

10. 教育・啓発活動について 97件

子どもの頃の教育や家庭教育が大事
ごみステーションのチェックをして、悪い所は改善するよう通達してほしい
分別の呼びかけ・広報してほしい
意識の徹底・改革してほしい
ごみ有料化の成果やリサイクルの現状を報告してほしい
テレビCMやテレビニュースでの啓発してほしい
市報に分別方法を載せてほしい
クリーン推進員にもっと活動してほしい
ごみ処理施設の見学で意識を変える・教育カリキュラムに組み込む 等

11. 高齢世帯について 17件

高齢者は分別が難しい
介護用オムツや古紙は重たくて捨てるのが大変
分別表の文字を大きくしてほしい
ごみステーションまで行けない・行けなくなるかもしれない 等

12. 不法投棄に対する取り組みについて 14件

パトロールや罰則を強化してほしい
リサイクル料を下げた不法投棄を減らしてほしい
不法投棄が増えた・多い 等

13. その他 64件

企業側が減量化やリサイクルにもっと積極的に参画してほしい
ごみを出さないように工夫して生活する
生ごみを減らすため、少量(一人分・二人分)の販売があると助かる
福宗清掃センターへ行く道に道案内の看板を設置してほしい
ショッピングモールの紙の回収でリサイクルしている
有価物集団回収をごみ収集日程表に入れて大分市全体でやると良い
リサイクルしやすい環境を作って欲しい(フリマ、リサイクル品の回収場所の増設)
資源ごみはごみ袋やトイレトペーパーやお金と交換してほしい
分別するとお金が返ってきたり、景品がもらえる自動販売機のような設備がほしい
リサイクルで発生したお金を個人や地域に還元してほしい
生ごみを資源化してほしい・生ごみから燃料(ガス)、肥料を精製して、販売してほしい
分別を検索できるアプリがほしい・市のホームページで簡単に検索できるようにしてほしい
廃油をリサイクルしてほしい 等